

令和4年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	・自立と社会参加をめざして、各学部の教育内容の標準化に向けた取り組みを推進し、それぞれが系統性のある教育課程の編成や組織的な授業改善に取り組む。	①新学習指導要領を学部で共有し、成果をまとめる。 ②研修会の見直しを行う。	①昨年度の成果を学部ごとに共有し、成果をまとめる。 ②研修についてアンケートを実施し、研修の在り方を見直す。	①昨年度の成果を学部ごとに共有し、成果をまとめることができたか。 ②研修についてアンケートを実施し、研修の在り方を見直すことができたか。					
2	(幼児・児童・)生徒指導・支援	・児童・生徒一人ひとりの個性を尊重し、よりよく生きるための多様な教育的ニーズに対応した支援、指導を組織的・連携的に行う。	①相談支援業務内容について職員の理解を図る。 ②ICT 機器を活用した授業実践を積み上げる。	①職員会議等の機会を捉え、相談支援業務内容を説明する。(5月、8月、12月) ②国立特別支援教育総合研究所の協力を得ながら行う。	①職員会議等の機会を捉え、相談支援業務内容を説明することができたか。 ②国立特別支援教育総合研究所の協力を得ながら行うことができたか。					
3	進路指導・支援	・一人ひとりが将来をより豊かに自分らしく生きるために、障がいの特性や発達段階に応じた社会生活に移行できる進路指導・支援を行う。	①意思決定支援の在り方について理解を深める。 ②保護者がわかる支援通信を発行する。	①意思決定支援に関する研修会を行う。 ②わかりやすい用語で支援通信を発行する。	①意思決定支援に関する研修会を実施することができたか。 ②わかりやすい用語で支援通信を発行することができたか。					
4	地域等との協働	・共生社会の実現に向け、障がいのある子どもの理解者・支援者を増やすために地域とのつながりを広げ、深める教育活動を展開する。	①鎌倉養護学校の様子を地域にお伝えする。 ②授業つながり資源をもとに、地域目線を取入れた資源マップ作りに取り組む。	①「鎌倉養護学校だより」を毎月発行する。 ②学校運営協議会委員の助言を受けながら作成する。	①「鎌倉養護学校だより」を毎月発行することができたか。 ②学校運営協議会委員の助言を受けながら作成することができたか。					
5	学校管理 学校運営	・不祥事防止に努め、同僚性の良質化を図り、職員一人ひとりが当事者意識を持ち、不祥事ゼロをめざす。 ・児童生徒の安全と健康を守り、良好な教育環境の整備を推進する。 ・教員の働き方改革を推進するための教員の意識改革を図る。	①ヒヤリハット・アクシデントのケース会を開き、事故を未然に防ぐ。 ②昨年度の反省を生かし、避難訓練を実施する。 ③長時間勤務を是正する。	①ヒヤリハット・アクシデントのケース会を学部会で学ぼう。 ②避難場所をグランドに変更して実施する。また、防火扉前にコーンを設置し、実施する。 ③データ管理のルールを決め、実施する。	①ヒヤリハット・アクシデントのケース会を開き、事故を未然に防ぐことができたか。 ②訓練の反省をもとに改善し次に活かすことができたか。また、必要な物品を揃えることができたか。 ③データ管理のルールを決め、実施することができたか。					